

令和8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	衛生化学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 金曜2時限	教室名	
担 当 教 員	三木 紳一郎	実務経験とその関連資格	大学卒業後、大阪市役所の医療系行政職員(薬剤師)として、薬務・食品衛生・環境衛生などの衛生行政に携わった。その後、大手前栄養学院及び大手前大学の教授として、管理栄養士・看護師などの養成教育及び関連研究を行った。			
《授業科目における学習内容》						
「衛生化学」とは、ヒトの健全な生活を確保し、病気を予防するため、食品及び環境中のあらゆる物質や事象と人との関わりを探究する幅広い学問分野です。日常生活に密着した分野であり、医薬品等に関連する職業に就くうえにおいて、特に修得しておくべきと考えられる事項について重点的に説明するとともに、実践的な内容も含めて講義を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験70%、復習テスト20%(不定期に実施)、平常評価10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:しんぶる衛生公衆衛生学2026年版 小山 洋(監修)辻 一郎、上島 通浩(編集) 南江堂						
《授業外における学習方法》						
授業後、授業の到達目標を念頭に、配布資料及び、教科書等による復習をする。また、日常生活において、授業中に学習した内容を有効に活用できるよう思考する習慣をつける。						
《履修に当たっての留意点》						
衛生化学は、皆さんが今後、就かれる各業務及び日常生活においても重要なものとなりますので、基礎からよく理解し活用できるように履修してください。また、配布資料及び教科書以外でも新聞やインターネット等の関連情報も収集してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒトに健康被害を及ぼす「原虫」について、その特徴と予防方法を理解する。	配布資料 教科書		・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前期の復習)原虫に関する種類と感染メカニズム等について、解説するとともに、その実態と予防方法についても解説する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	植物性自然毒及び動物性自然毒について、各毒性の特徴及び性質並びに実態と予防法などを理解する。	配布資料 教科書		・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)毒キノコや青梅などの植物性自然毒並びにフグ毒や貝毒などの動物性自然毒について、毒物の特徴や発症メカニズム等について、その実態と予防法を含め解説する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	我が国における四大食中毒事件、有害化学物質並びに感染症について、その概要を理解する。	配布資料 教科書		・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)水俣病やイタイイタイ病などの四大食中毒事件、健康被害を及ぼす有害化学物質並びに代表的な感染症について、解説する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人畜共通感染症、寄生虫及び牛海綿状脳症などについて、その概要を理解する。	配布資料 教科書		・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)脊椎動物とヒトの間で伝播する人畜共通感染症、アニサキスなどの寄生虫及び牛海綿状脳症などについて、その概要を解説する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒトの健康被害を及ぼす食品内汚染物質の種類とその概要を理解する。	配布資料 教科書		・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)残留農薬、環境ホルモン、発がん物質、放射性物質など食品内汚染物質について、解説する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	(その1) 食品添加物について、定義、分類などを理解する。	配布資料 教科書	・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)食品添加物について、定義、分類、基準の策定方法、表示方法などを解説する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	(その2) 食品添加物の用途別種類を理解する。	配布資料 教科書	・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)保存料、着色料、甘味料などの各用途ごとに具体的な食品添加物について、その概要を解説する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	食品容器、衛生管理システム、健康食品Ⅱについて、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・配布資料を熟読すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)樹脂製食品容器の安全性、HACCP等の衛生管理システム、関係法令を含めた健康食品Ⅱについて、解説する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期及び後期(1~8回)までの講義の内容について、復習することにより理解を深める。	配布資料 教科書	・これまでの配布資料を熟読し、復習すること ・教科書
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)前期及び(1~8回)までの講義内容について、特に重要な項目を問題形式で解説しながら解答する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校保健について、定義、組織運営及び実態など、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・教科書Chapter9 ・配布資料を熟読すること
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)学校保健における、その定義、組織運営及び実態などについて、解説する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域社会と保健行政について、組織内容、保健衛生活動など、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・教科書Chapter7 ・配布資料を熟読すること
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)地域保健活動の経過、地域保健法の概要、行政等組織、関係業務及び職能等について、その概要を解説する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	(その1) 医療従事者の資格と資格法について、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・教科書Chapter14 ・配布資料を熟読すること
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)医療関係の各従事者について、業務内容と資格の根拠となる法令等を説明する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	(その2) 医療従事者の資格と資格法について、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・教科書Chapter14 ・配布資料を熟読すること
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)医療関係の各従事者について、業務内容と資格の根拠となる法令等を説明する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境政策について、公害及び環境衛生対策などについて、その概要を理解する。	配布資料 教科書	・教科書Chapter6など ・配布資料を熟読すること
		各コマにおける授業予定	(前回の復習)大気、水質及び土壌汚染などの公害の現状、水道及び廃棄物の現状など環境衛生全般について、解説する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期(1~14回)の講義内容について、その理解度を評価する。	配布資料 教科書	・配布資料及び教科書(関連力所)について、復習すること
		各コマにおける授業予定	後期(1~14回)の講義内容について、その理解度を評価するため、まとめ試験を実施する。		